

博物館評価(2021 年度)

I 博物館評価について

この博物館評価は、前指定管理者が管理運営をする中で、事業のみならず博物館活動全般において、それまで行ってきたことをチェックして改善をはかるために2010年度より実施してきたものであり、指定管理者が代わった現在も継続している。

博物館評価表(A3折込)は、当館の3つのミッション(13ページ)を大項目とし、これに対応するようにして、それぞれの具体的な目標となる中項目を設定した上でさらに具体的な評価指標の項目をあげ、経年的な推移を示している。またモニタリング調査等で収集したデータを加えている。

II 自己分析(Check)

①博物館機能を充実させる

資料収集や調査研究等の博物館の基礎機能を充実させる。博物館の基礎機能とは、博物館の存在基盤であるコレクションのマネジメントである。2007年度以降、本格的なコレクションの収集、整理、保管管理と公開に向けた準備作業を行ってきた。また、その情報を公開することも進めている。

【現状評価】

資料収集の状況について、収蔵点数(1)に関し、新規収蔵点数は昨年度から797点増加した。寄贈された資料件数(2)は昨年度より25件増加し、90件となった。寄託資料の受入(3)はなかった。資料購入は昨年度と比べて件数・総額ともにやや減少したが、引き続き効果的な収集を行うことができた(4)。

資料の保管状況について、本年度は収蔵庫の隔年燻蒸の実施年のため、2月下旬～3月上旬に燻蒸を行った(5)。継続して行っている粘着トラップによる定期的なモニタリング(6)は、展示ケース内で虫が確認されたため、当該ケース内のトラップ数を増やすなどの措置を取った。その後は確認されていない。

資料再整理業務の実施状況を表す収蔵庫での作業日数については、本館収蔵庫内での作業日数(7)と上花輪収蔵庫内での作業日数(8)は、昨年度と同程度であった。2014年度にホームページ上に開設した「資料データベース」では、今年度は99件の資料について公開及び更新を行った。今後も継続的に整理・入力を進め、公開数を増やしていきたい。

学芸員の活動について、講演回数は増加した(9)。学芸員による館外調査の件数は、昨年度より増加した(10)。従来の特別展や資料寄贈に関わる調査に加え、今年度は地域の民俗行事や市内旧家などの調査が増えたためである。館蔵資料閲覧の件数は昨年度から増加した(11)。新規収蔵資料の公開は引き続き企画展「野田に生きた人々 その生活と文化」の展示スペースの半分を充てて行い受け入れ件数ベースですべて紹介をした(12)。博物館の資料収集活動について市民へ紹介すると同時に、展示内容に変化を生み出す意味でも効果的に機能している。資料貸出件数は昨年度から増加した(13)。画像の提供、利用許可件数は昨年度と同程度であった(14)。これは、今年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で、臨時休館や部屋ごとの定員などの利用条件が設けられたの期間があり、コスプレ撮影での利用が以前ほどは多くなかったためである。

【改善を要する点等】

資料の収集や管理については、良好に経過していると思われる。画像利用許可件数など昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が見られる項目もあるため、今後の影響についても注視していきたい。

②利用者サービスの向上を図る

すべての利用者にかかれた博物館として、幅広い層の呼びとが来館することを目指している。そのために、公共施設としての基本的な機能を維持し、さらに館内施設の充実や利用者・関係者の満足度やニーズを把握して質の高い市民サービスを提供することを心掛けてきた。

【現状評価】

開館日数(15,16)は昨年度よりも増加したが、今年度も博物館、市民会館ともに新型コロナウイルス感染症対策のため9月1日から30日まで臨時休館となったため、例年の日数には達していない。また、今年度は野田市主催の企画展を受け入れたため、展示替えの臨時休館が通常よりも長い期間があったことも影響している。一方で、博物館の総入館者数(17)と1日平均入館者数(18)は、昨年度よりも大きく増加し、新型コロナウイルスの影響が出る以前と並ぶ値となった。これは、前述の野田市主催の企画展「世界が尊敬する忍者-武神館宗家 初見良昭の足跡をたどる-」の会期中に非常に多くの来館者があったためである。来館者の多くが当館の常設展も見学しており、これまでにない来館者層が訪れるよい機会となったと思われる。初めて博物館を利用した近隣からの「新規来館市民の割合」(33)やリピーター率(19)は、昨年度と同程度であった。野田市主催の企画展は市で独自にアンケートを収集していたため、この数値は当館主催の3つの展覧会会場で取ったアンケートによるものである。

市民会館については引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、総入館者数(20)と1日平均入館者数(21)ともに昨年度並であった。貸部屋稼働率(22)や利用団体数(23)(24)については、市の定める部屋ごとの定員や利用目的による制限などの条件が徐々に緩和されていったため全体的には昨年度よりも増加しているが、コロナ以前の数値には戻っていない。

来館者が利用に満足しているかどうかのチェックである、展覧会の満足度、施設の雰囲気や居心地に対する満足度(25,26)はいずれも昨年度よりやや増加した。新型コロナウイルス感染症の影響により博物館ボランティアの活動時間を短縮していることもあり、職員・スタッフの対応を受けた来館者の割合(28)は昨年度同様例年よりも低かったが、対応に対する満足度(29)は例年通り高い水準を保っている。

博物館刊行物の販売(31)は、昨年度よりも減少し、一昨年度と同程度となった。一方で、刊行物以外の品物の売り上げは、昨年度から倍増した(32)。これは、指定管理者の自主事業として、関宿藩ゆかりの儒学者・佚斎樗山が著した「猫の妙術」をもとにした絵本の販売を始めたためである。

【改善を要する点等】

引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、年度後半にかけて徐々にではあるが部屋利用者なども戻りつつある。今後も感染対策を行いながら、その中でしっかりとできることに取り組んでいきたい。

③市民の交流の拠点にする

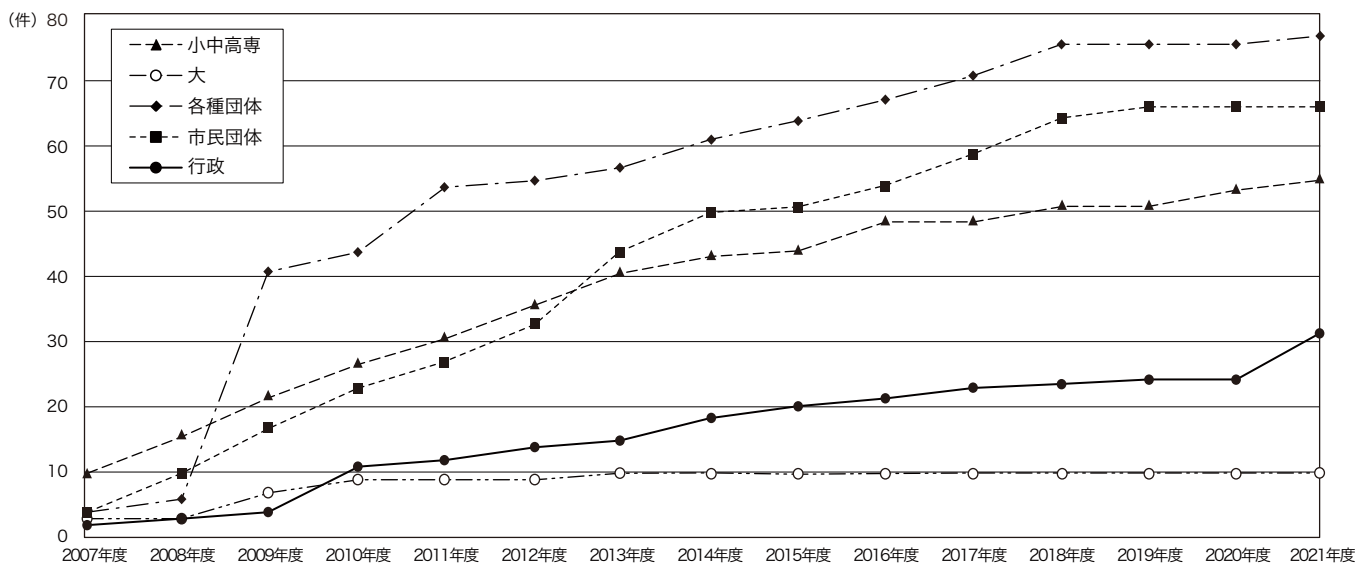
市内の様々なコミュニティに属する団体と広く連携をし、博物館がコミュニケーションの推進役となることで、地域の活性化・まちづくりに繋げていくことを目指してきた。

【現状評価】

交流事業はミュージアム・コンサートと寺子屋講座が昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症対策のため中止になり、実施された事業はなかった(34)。他団体との連携については、小学校の団体見学が少しずつ戻ってきたほか、昨年度から開始した郷土学習用パネル(縄文時代編)の巡回展に加え、特別展「野田の桃源郷」に関するパネル巡回を行った。また、野田市主催の企画展において市内の武神館道場などとも新たに連携することができた(35～39)。

コミュニティの種別	団体・グループ名	内容
小学校	野田市立山崎小学校	パネル展示（縄文時代）
小学校	野田市立岩名中学校	パネル展示（桃源郷）
各種団体	武神館	野田市主催企画展
行政	魅力推進課（当時）	野田市主催企画展
行政	野田市南部梅郷公民館	講師派遣、パネル展示（古写真）
行政	野田市二川公民館	講師派遣、パネル展示（古写真）
行政	野田市関宿中央公民館	パネル展示（古写真）
行政	野田市立せきやど図書館	絵本『猫の妙術』原画展示

表1 新たに連携をした団体・グループ(2021年度)



④市民や市役所との意思疎通を図る

博物館職員と市民とが対等にコミュニケーションをすること、担当課である生涯学習課との意思疎通をスムーズに行い、円滑な博物館運営につなげることを目指してきた。

【現状評価】

博物館と市民との交流の場となっている特別展オープニング・レセプションは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした(42)。また、博物館懇談会は予定通り2回開催した(43)。行政(本庁)と博物館との関係について、市長、副市長、教育長の来館回数(45)と博物館職員の訪庁回数(46)は昨年度と同程度であったが、野田市主催企画展を実施したため市職員の来館回数(44)は大きく増加した。

【改善を要する点等】

館職員の訪庁と市職員の来館については、円滑な意思疎通をするために必要なことであるため、引き続き日常的なコミュニケーションを大切にしていきたい。

⑤博物館の活動を広める

情報発信をし、市民が博物館の情報を入手しやすい環境を作ってきた。また、メディアに取り上げてもらうことによって、博物館や野田の魅力の向上に努めてきた。

【現状評価】

TV、雑誌、新聞掲載、ロケ地としての利用回について、TVで取り上げられた回数(47)とロケ地として利用された回数(49)は昨年と同程度で、新聞で取り上げられた回数(48)は昨年度から減少した。ホームページのセッション数(50)は昨年度と同程度であったが、「庭からブログ」や「学芸員コラム」が昨年度よりも多くのアクセスを集めていた(詳細は54～55ページ参照)。資料データベースも含め、博物館の情報を積極的に発信していきたい。

【改善を要する点等】

全体的に順調に推移していると思われる。ホームページ等インターネット上での情報発信は今後も積極的に取り組んでいきたい。

⑥市民のキャリアデザインに貢献する

市民が、キャリアデザイン事業に関心をもって参加することを目指した。また、ライフキャリアの各段階に応じた支援をすることで、市民が、学習目標の達成、キャリアの再設計、社会参加や地域貢献へつなげていけるようにした。

【現状評価】

寺子屋講座を含め、全てのキャリアデザイン事業が新型コロナウイルス感染症対策のため未実施か中止となった(52～53)。市民参加型企画展の平均入館者数(51)は野田市主催企画展の開催により市民参加型企画展の開催回数が通常の2回から1回に減少したため、新型コロナウイルス感染症の影響で回数が減少した昨年度と同程度となった。キャリアデザインの拠点機能の既知(54)は僅かに増加した。

博物館ボランティアは、滞在時間を短縮しての活動を継続した。活動延べ人数(62)は昨年度よりは増加したが、今年度も臨時休館が発生するなどコロナの影響は色濃く例年ほどの値には到っていない。しかし、来館者への対応については変わらず好評を得ており、展示アンケート(38～41ページ参照)やモニタリング調査(29)からもうかがうことができる。

【改善を要する点等】

講座開催や博物館ボランティアの活動についても新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、できることに取り組んでいきたい。

	中項目	小項目	評価指標	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	凡例		
掘り起こし、活用する博物館 ミッション1 地域の文化資源を	①博物館機能を充実させる	資料の収集を行えているか	1 資料収蔵点数	20,762点	21,901点	22,227点	22,625点	22,907点	23,072点	23,766点	23,913点	24,359点	25,552点	25,942点	26,739点	当館蔵の資料総数。1件に複数点の資料が含まれる場合、点で計上。		
			2 寄贈された資料件数	84件	102件	179件	98件	98件	81件	24件	108件	74件	53件	65件	90件	当該年度に市民等から寄贈された資料数。資料台帳に登録された件数で計上。		
			3 寄託された資料件数	4件	1件	2件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	当該年度に寄託された資料数。資料台帳に登録された件数で計上。寄託資料のため、所有者に返却することで数が減じた場合は-で相殺する。	
			4 購入した資料件数	26件 487,230円	47件 949,090円	33件 828,200円	16件 804,550円	42件 666,650円	20件 886,970円	42件 695,856円	22件 232,520円	53件/ 773,184円	26件/ 690,680円	38件/ 833,850円	30件 774,360円	当該年度に購入した資料数。資料台帳に登録された件数/購入総額を記載。		
		資料の保管状況は良好か	5 燻蒸回数	0回	1回	0回	1回	0回	1回	0回	1回	0回	1回	0回	1回	0回	1回	収蔵庫内の燻蒸の実施回数。隔年で実施。
			6 収蔵庫、展示室ケース内の粘着トラップの点検回数	15回	15回	9回	4回	10回	10回	6回	4回	13回	6回	7回	8回	展示室と収蔵庫に設置している虫害検査用粘着トラップの点検回数。		
		収蔵資料は利用・公開しやすいよう整理が進められているか	7 本館収蔵庫での作業日数	-	-	33日	13日	11日	37日	23日	12日	12日	14日	8日	11日	本館収蔵庫に入庫し、清掃や整理等、資料整理(再整理含む)に関する作業を行った日数。		
			8 上花輪収蔵庫での作業日数	-	-	13日	18日	20日	19日	20日	20日	16日	23日	37日	31日	上花輪収蔵庫に行き、資料整理等の作業を行った日数。		
		学芸員は調査研究発表を行っているか	9 学芸員の講演・講座等の講師件数	8件	16件	9件	5件	7件	6件	6件	5件	4件	0件	3件	6件	学芸員が業務内および業務外で講師等をつとめた件数。		
			10 学芸員による館外調査の件数	73件	79件	75件	86件	29件	33件	69件	57件	52件	70件	54件	88件	学芸員が「展覧会や資料調査等の目的で、館外で調査を行った件数。」		
		収蔵資料を公開しているか	11 館蔵資料閲覧の件数	48件	35件	35件	20件	20件	18件	17件	10件	12件	6件	3件	4件	展示をしていない館蔵資料に対して閲覧申請を受け、対応をした件数。		
			12 過去2年間の新規収蔵資料の展示公開割合	-	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	前々年度と前年度に寄贈、寄託、購入により収集した資料を、展示や特別公開等の手段で一般公開した割合。寄贈者数をベースに計上(複数点ある「資料群」を収集した場合はそのうちの1点以上を公開)。また、調査参考目的で収集した資料(古書籍等)は対象外とする。		
			13 他機関への資料貸出件数	7件	4件	7件	4件	5件	5件	1件	3件	3件	2件	5件	6件	他機関への博物館資料等の貸出件数。		
			14 他機関等への画像の提供、利用許可件数	19件	25件	28件	47件	82件	107件	231件	297件	274件	327件	163件	174件	他機関への画像(ポジ、データ)等の提供や申請者が撮影した写真の利用許可件数。		
②利用者サービスの向上を図る	開館日数は十分か	15 博物館開館日数	254日	273日	269日	264日	273日	273日	278日	271日	271日	251日	226日	242日	火曜日・年末年始などの定期休館日、整備工事、展示替えやイベント等に伴う臨時休館日を除いた、年間の開館日数。			
		16 市民会館開館日数	265日	311日	308日	309日	311日	312日	309日	308日	308日	282日	252日	283日	博物館開館日の入館者数。入り口のカウンタで計上。			
	施設の利用率は保たれているか	17 博物館入館者数	28,583人	29,868人	29,753人	31,328人	32,164人	29,789人	28,445人	34,189人	31,668人	26,811人	16,023人	26,860人	博物館開館日の入館者数。入り口のカウンタで計上。			
		18 博物館1日平均入館者数	112.5人	109.4人	110.6人	118.7人	117.8人	109.1人	102.3人	126.2人	116.9人	106.8人	70.9人	111人	博物館開館日の入館者数を開館日でならしたものの。			
		19 特別展・企画展の平均リピーター率	44.0%	50.3%	52.2%	54.2%	46.6%	52.2%	54.0%	54.8%	60.0%	38.2%	60.9%	62.5%	年間の展覧会アンケート回収枚数のうち、来館回数が2回目以上とした回答の割合。			
		20 市民会館の入館者数	44,575人	44,508人	47,114人	46,276人	50,660人	44,699人	45,652人	48,158人	46,393人	40,200人	23,478人	24,067人	市民会館開館日の入館者数。正面玄関と内玄関の2箇所の入り口のカウンタで計上。			
		21 市民会館1日平均入館者数	168.2人	143.1人	153.0人	149.8人	162.9人	143.3人	147.7人	156.4人	150.6人	142.6人	93.2人	85人	市民会館開館日の入館者数を開館日でならしたものの。			
		22 市民会館貸部屋稼働率	97.0%	93.6%	96.4%	96.1%	96.8%	95.8%	99.4%	100.0%	99.4%	98.6%	89.7%	96.1%	市民会館の開館日のうち、貸部屋が利用された日の割合。			
	来館者は利用に満足しているか	23 市民会館の貸部屋利用団体数(市内)	903件	962件	933件	986件	1,024件	939件	1,049件	1,178件	1,160件	946件	518件	805件	貸部屋申込団体のうち、市内の団体あるいは在住者が申し込み、利用した件数。			
		24 市民会館の貸部屋利用団体数(市外)	28件	32件	30件	36件	42件	110件	180件	245件	250件	305件	141件	118件	貸部屋申込団体のうち、市外の団体あるいは在住者が申し込み、利用した件数。			
	ミュージアム・ショップは機能しているか	25 特別展・企画展の平均満足度	87.3 pt	88.1 pt	85.4pt	89.4pt	91pt	92pt	92.5pt	91.3pt	94.0pt	91.0pt	88.4pt	90.7pt	展覧会アンケートの該当項目を点数化(※1)したもの。			
		26 博物館の雰囲気、居心地に対する満足度	84.9 pt	86.7 pt	84.4pt	87.4pt	89pt	90.5pt	90.5pt	90.5pt	91.3pt	89.0pt	87.1pt	89.2pt	展覧会アンケートの該当項目を点数化したもの。			
		27 貸部屋利用者満足度	-	86.7 pt	-	-	85.8pt	-	-	-	86.0pt	-	-	未実施	市民会館利用者アンケート(※2)の総合的満足度を点数化したもの。			
		28 職員・スタッフの対応を受けた来館者の割合	-	84.6%	85.8%	86.8%	82.5%	88.4%	89.0%	86.5%	87.1%	85.9%	72.0%	75.5%	モニタリング調査(※3)の該当項目より計上。			
29 職員・スタッフの対応を受けた来館者の対応満足度		-	93.7pt	90.9pt	90.1pt	90pt	89.5pt	90.9pt	94.2pt	91.8pt	89.2pt	89.8pt	89.5pt	モニタリング調査の該当項目を点数化したもの。				
30 しょうがい者、高齢者等で、見学に補助が必要な方への対応件数		-	9件	9件	1件	4件	5件	2件	3件	1件	2件	1件	0件	当館職員、博物館ボランティアが、車椅子での移動(段差部分等)の介助、筆談等で見学を補助した件数。				
これまで博物館を利用してこなかった市民に利用されるようになっていくか	31 ミュージアム・ショップは機能しているか	637冊	541冊	685冊	543冊	670冊	613冊	410冊	730冊	596冊	265冊	487冊	247冊	博物館発行の図録や書籍の販売冊数の合計。委託書籍は含まない。				
	32 刊行物以外の品物の売り上げ	-	356,620円	351,153円	93,080円	151,183円	104,579円	63,111円	120,442円	55,460円	38,482円	23,200円	50,772円	書籍以外のグッズ類販売(自主事業)の売り上げ。				
③市民の交流の拠点にする	施設が市民の交流と連携の場(ハブ)の役割を果たしているか	34 交流事業の参加者総数	173人/2回	227人/3回	240人/2回	170人/2回	279人/3回	320人/3回	310人/3回	275人/3回	179人/3回	0人/0回	0人/0回	0人/0回	「ミュージアム・コンサート」、その他せしモニーなどの参加者総数。交流事業に分類されている事業のうち、学校見学対応は含まない。			
		35 小学校、中学校、高校、専門学校との連携件数	27件	31件	36件	41件	43件	44件	49件	49件	51件	51件	53件	55件	市内外の学校との連携の累積件数(※4)。見学会、職場体験、学芸員による講演や出張授業、学校(クラブ)によるレセプションへの出演など。			
		36 大学との連携件数	9件	9件	9件	10件	10件	10件	10件	10件	10件	10件	10件	10件	大学との連携の累積件数。特別展のための合同調査、インターン受入、学芸員による講義、学生のスタッフ業務など。			
		37 各種団体(農・商工・医療福祉)との連携件数	44件	54件	55件	57件	61件	64件	68件	73件	74件	74件	74件	75件	各種団体との連携の累積件数。団体代表者への寺子屋講師依頼、学芸員による講演、展覧会や事業への協力など。			
		38 市民団体との連携件数	23件	27件	33件	44件	50件	51件	53件	60件	65件	67件	67件	67件	市民団体との連携の累積件数。市民団体とは、市民が文化活動、NPO、ボランティア(農・商工・医療福祉以外の分野)の活動を行う団体。			
		39 行政との連携件数	11件	12件	14件	15件	18件	20件	21件	24件	25件	26件	26件	31件	学校以外の公共機関(公共博物館を含む)や行政機関との連携の累積件数。事業共催、展覧会協力、行政職員への寺子屋講師依頼、学芸員による講演など。			
		40 当館のまちづくりの拠点機能を知っている市民の割合	-	52.3%	43.5%	-	49%	46%	44.7%	42.4%	37.8%	37.9%	23.7%	29.5%	モニタリング調査の該当項目より計上。			
	地域産業のPRになる取り組みをしているか	41 土産物マップの印刷枚数	-	2,700枚	-	-	2,070枚	1,800枚	1,200枚	900枚	1,100枚	0枚	0枚	0枚	野田散策 MAP「土産物編」の印刷枚数。			

	中項目	小項目	評価指標	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	凡例	
集い交流する博物館 ミッション2 人やコミュニティが	④市民や市役所との意思疎通を図る	博物館は市民と意思疎通する機会を設けているか	42 特別展オープニングレセプションの参加者数	45人	55人	38人	46人	35人	30人	40人	44人	49人	39人	—	—	特別展の初日に行われるオープニングレセプションへの参加者数。	
			43 博物館懇談会の回数	—	—	3回	3回	2回	2回	2回	2回	2回	1回	2回	2回	博物館評価の一環として市民から博物館へ意見をもらう懇談会の開催回数。	
		行政は博物館・市民会館に関心を向けているか	44 市職員の来館回数	107回	123回	194回	223回	82回	57回	75回	75回	84回	144回	130回	159回	224回	日々の業務の中で市職員が来館した回数。館務日誌から計上。
			45 市長、副市長、教育長の来館回数	6回	16回	12回	18回	6回	7回	7回	7回	8回	5回	4回	2回	2回	公式・非公式を問わず来館した回数。
	⑤博物館の活動を広める	情報を発信しているか	46 博物館職員の訪庁回数	—	167回	188回	138回	171回	219回	208回	185回	190回	154回	133回	140回	140回	当館職員が業務のため市役所を訪問した回数。
			47 TVで博物館が取り上げられた件数	8件	8件	6件	3件	6件	4件	3件	3件	3件	0件	5件	1件	2件	TVのニュースや特集番組で当館及び当館事業が紹介された件数。ケーブルテレビを含む。
48 新聞で博物館が取り上げられた件数			18件	14件	10件	10件	17件	14件	10件	10件	4件	4件	1件	8件	2件	新聞で当館及び当館事業が紹介された件数。	
		49 ロケ地としての利用回数	3回	1回	1回	2回	8回	4回	1回	4件	4件	0件	2件	2件	市民会館がCMや映画等のロケ地として使用された回数。実績はTVドラマ、TVCM、CDジャケット撮影、雑誌撮影など。非商用の撮影利用は含まない。		
		50 ウェブサイトのアクセス件数	61,531件	52,021件	50,807件 ※4月～2月まで	16,343件	22,050件	28,510件	29,262件	33,600件	32,417件	39,998件	29,892件	29,359件	ホームページのリニューアルによりカウント方法が変更(※5)。ホームページ管理業務委託者より提出される月例報告を元としたセッション数。ユーザーがサイトに訪れた回数で、30分以内の同一ユーザーの再訪問はカウントされない。		
キャリアデザインをはかる博物館 ミッション3 人びとの生き方や成長を支援して、	⑥市民のキャリアデザインに貢献する	市民が関心を持ち、事業参加しているか	51 市民参加型企画展(年1～2回)の平均入館者数	8,510人	8,113人	8,475人	7,987人	7,872人	7,658人	7,299人	9,406人	8,226人	9,398人	4,098人	4,655人	「市民コレクション展」「市民の文化活動報告展」「市民公募展」「市民アート展」など市民参加型企画展開催時の博物館入館者数合計を、企画展開催回数でならしたものの。	
			52 寺子屋講座(年22～24回)の平均参加者数	16人	20人	17人	20人	20人	18人	17人	22人	22人	17人	12人	—	—	寺子屋講座「まちの仕事人講話」と「芸道文化講座」の参加者数合計を開催回数でならしたものの。受付簿を元に計上。2019年度から年間回数を24回から12回に変更。
			53 キャリアデザイン事業(講座関係)(年7～10回)の平均参加者数	14人	9人	16人	18人	15人	11人	14人	13人	13人	10人	34人	—	—	「キャリアデザイン連続講座」「キャリアデザイン講演会」「ワークショップ」「親と子の茶道講座」「子ども向けの教育普及事業」の参加者数を開催回数でならしたものの。受付簿を元に計上。連続講座の場合はのべ回数+のべ人数で計上。
			54 「市民のキャリアデザインの拠点」機能を知っている来館者の割合	—	46.4%	38.9%	—	47.1%	38%	37.8%	37.9%	31.1%	29.5%	21.1%	26.8%	モニタリング調査の該当項目より計上。	
	市民がキャリアのステップアップを図っているか	55 2015年度自主調査研究グループ(農具)の人数							3人 (うち新規0人)	3人 (うち新規0人)	3人 (うち新規0人)	3人 (うち新規0人)	3人 (うち新規0人)	—	—	講座後、自主調査研究グループ結成の呼びかけに応じて参加した修了者の人数。結成年度以降は当該年度末時点の会員数。()内は、当該年度に新たにメンバーに加わった人数。	
		56 2015年度自主調査研究グループ(農具)の活動回数							1回	11回	0回	0回	0回	—	—	農具の自主調査研究グループが活動した回数。博物館で把握している活動を計上。	
		57 2016年度自主調査研究グループ「室礼サロン・たのしい和」の人数								14人 (うち新規0人)	17人 (うち新規4人)	20人 (うち新規3人)	22人 (うち新規2人)	—	—	講座後、自主調査研究グループ結成の呼びかけに応じて参加した修了者の人数。結成年度以降は当該年度末時点の会員数。()内は、当該年度に新たにメンバーに加わった人数。	
		58 2016年度自主調査研究グループ「室礼サロン・たのしい和」の活動回数								12回	24回	26回	17回	—	—	しつらいの自主調査研究グループが活動した回数。博物館で把握している活動を計上。	
		59 自主研究グループの活動実施回数合計	22回	32回	43回	43回	18回	1回	23回	24回	26回	17回	—	—	これまで発足した自主調査研究グループの活動実施回数の合計。		
		60 人材バンク登録件数	137件	154件	170件	190件	212件	233件	258件	280件	299件	307件	307件	307件	307件	307件	人材バンクに登録された人数。
61 人材バンク仲介件数	2件	2件	2件	0件	0件	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	職員が人材バンク情報を利用して人材を仲介した件数。		
62 博物館ボランティアの活動延べ人数	348人	480人	449人	549人	560人	570人	642人	575人	642人	575人	569人	528人	150人	308人	博物館ボランティアの通常業務、および月例の連絡会、研修会への参加人数。ボランティアの出勤簿を元に計上。		

■：該当する事業が開始されていない年 —：データがない年

- ※1 展覧会アンケートの4段階の選択肢の上位から100(大変よかった)、75(まずまずよかった)、25(あまりよくなかった)、0(悪かった)ポイント(pt)を付与し、当該項目回答者総数で除して算出した点数。
- ※2 市民会館の頻繁な利用者(おおむね月2回以上利用する団体のメンバー)に直接アンケートを手渡して回収。2007年～2010年度非実施。2011年度回収枚数66枚。2012年度、2013年度非実施。2014年度回収枚数98枚。2015～2017年度非実施。2018年度回収枚数141枚。2019～2021年度非実施。
- ※3 開館日から無作為に抽出した10日、9時～17時の間、当館入口(門2か所)から出てくる利用者全員を対象に(団体等複数人の場合はその内の1名)対面式(インタビュー形式)の調査。2011年度より実施。2011年度回収枚数306枚。2012年度回収枚数266枚。2013年度回収枚数262枚。2014年度回収枚数164枚。2015年度回収枚数150枚。2016年度回収枚数188枚。2017年度回収枚数211枚。2018年度回収枚数119枚。2019年度(新型コロナのため10日中9日実施)回収枚数95枚。2020年度(新型コロナのため10日中6日実施)回収枚数76枚。2021年度(新型コロナのため10日中9日実施)回収枚数112枚。
- ※4 市民個人ではなく、市内コミュニティ(団体や組織)との「つながり」が出来たものを1件として累積計上。資料調査、講演協力、団体や組織としてのイベント参加及び協力、施設管理に関わるもの等を含む。
- ※5 2013年4月1日にリニューアルしたホームページを公開。それに伴いアクセス解析のソフトもwebalizerからGoogle Analyticsに変更になり指標も変わった。2013年度を境にアクセス解析の指標の数字が大幅に下がっているのは、ソフトの計測方法の違いによるものである。